

トピック4

ゴミの削減

インストラクター用ガイド

World Sailing (ワールドセーリング)
のサステナビリティ教育プログラム

協賛





World Sailing (ワールドセーリング) のサステナビリティ教育プログラムへようこそ!

World Sailing (ワールドセーリング) の「サステナビリティアジェンダ2030」はサステナビリティをスポーツに組み込む長期的な戦略である。

この教育プログラムは、参加者に以下を目的としている。

- 水上でも陸の上でも持続可能な行動を実施する
- セーラーが海洋および海洋の生物に及ぼす影響に関する認識を高める
- 気候変動と気候変動が及ぼす影響を減らす行動に対する意識を高める
- 国連の持続可能な開発目標におけるセーリングの役目を理解する

2015年に公表された2030年に向けた国連の持続可能な開発目標は、極度の貧困、気候変動、不平等や不公正などと戦い、より良いサステナビリティのある世界を実現するための17項目を含む。

World Sailing (ワールドセーリング) は国連のアジェンダに強くコミットメントをしている。World Sailing's Sustainability Agenda 2030 (ワールドセーリングのサステナビリティアジェンダ2030) では、セーリングスポーツがどのように貢献できるか及びIOCのSustainability Strategy (サステナビリティ戦略) の5つの重点分野との連携について説明している。セーリングはよりよい変化と影響をもたらそうとしているグローバルな動きの一部である。セーラーも水の上でも陸の上でも行動を通してその一部にもなって貢献できる。

World Sailing's Sustainability Agenda 2030 (ワールドセーリングのサステナビリティアジェンダ2030) は次のリンクからアクセスできる:bit.ly/2sjGrKZ

持続可能な開発目標



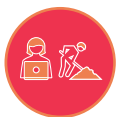
World Sailing's Sustainability Agenda 2030 (ワールドセーリングのサステナビリティアジェンダ2030) は、IOCの Sustainability Strategy (サステナビリティ戦略) の5つの重点分野と連携してる。



インフラと自然利用



調達と原材料マネージメント



労働



移動



気候



トピックス

World Sailing (ワールドセーリング) のサステナビリティ教育プログラムに6つのトピックがある。

トピック1	World Sailing (ワールドセーリング) とレースをしましょう!
トピック2	資源と気候変動
トピック3	野生生物と生物の多様性
トピック4	ゴミの削減
トピック5	オイルと燃料
トピック6	船の洗浄とメンテナンス

トピックは互いに関連しているので、使う順番は自由に選んでください。

各トピックには次のリソースがあります。



年齢別の色分け

6～8歳

8～10歳

10～12歳

これはトピック4「ゴミの削減」のインストラクター用ガイドです。

このトピックの目標：

- ゴミの種類とゴミのヒエラルキー（ゴミ対策すべきことの優先順位）
- セーラーとセーリングクラブによって発生するプラスチックのゴミについて考える
- 循環型経済の理解を深める
- ボートやセーリングクラブのゴミを減らす方法を学ぶ
- ボートやセーリングクラブのプラスチックゴミを減ら指導者へのヒントを考える

ワークシートの答え

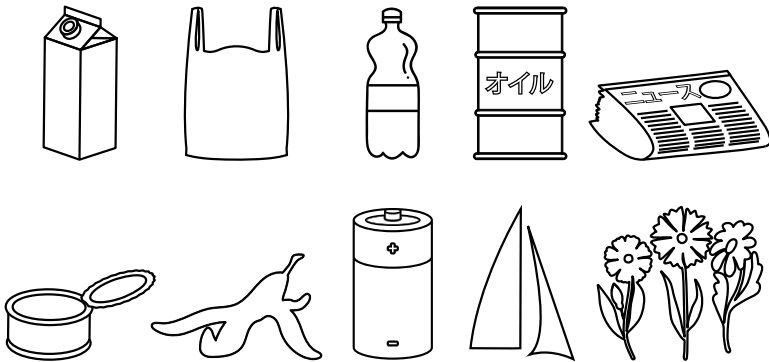
語彙の答え

キーワード	意味	指導者へのヒント
ゴミ	不要になったもの、そして捨てたいもの。	飲用水をディンギーに持ち込んだ場合、飲み終わると必要ない空のペットボトルがたくさん残ってしまう。
堆肥(たいひ)	微生物と酸素によって分解された有機の材料。	昼食または夕食の果物と野菜の皮などは、有機的に分解されるため、通常のゴミ箱に入れる必要はない。
ヒエラルキー(ゴミ対策すべきことの優先順位)	権力または重要性の順に並べられたものまたは人々のグループ。	スキッパー、ファーストメイト、セカンドメイト。
生分解性	他の生物(バクテリアなど)によって小さく分解できるもの。	野菜の皮、卵の殻、紙。
循環型経済	原料を何度も再利用し続けることで無駄をなくすことを目指す社会。	古い帆は、放り投げて捨てる代わりに、ふたたびデザインして、別の製品として再利用することが可能。
地下水	地下、土壌、砂、岩の割れ目やその空間にある水。	深く掘り下げたり、岩のようなもの下を見ると、このような水が見つかります。

捨てないで!の答え

ゴミを再利用するために提案できる回答

この課題の目的は、ゴミを単純で簡単な方法で何に再利用できるかをクルーに個人的なレベルで考えさせることである。それから、ゴミの一部を分解してボートの部品などどう再利用するかについて話すこともできる。



水用のペットボトル	花瓶、液体の保管、水まき缶
金属の缶	鉛筆ホルダー、ハーブや小さな植物のプランター
ビニール袋	手が汚れる食べ物、食料品の買い物袋、衣類の保管バッグ
牛乳パック	工芸プロジェクト、種の栽培、ペンキ入れ
新聞	包装紙、動物の寝具の防水材、窓の洗浄
ボートの帆	テント、シャワーカーテン、バッグ

掃除の時間!

事前に、ゴミを収集するための安全装置とバッグを用意する。

クルーが岸をきれいにする時間、またはセーリングクラブ周辺をきれいにする時間を決めておく。(推奨時間:15分)ワークシートに含まれている安全上の注意事項を確認する。クルーを2~3人の小さなグループにわけて、掃除に協力するように促す。

掃除の時間の後、クルーをグループ全体として戻し、発見したゴミを調査するよう伝える。

覚えておきましょう!

- インストラクターが提供する安全装置(手袋、ピッカーなど)を必ず使う。
- とがっているなもの、針、動物のフンを絶対に拾わないこと。このようなものを見つけたら、すぐインストラクターに伝えること。
- インストラクターから指示された範囲から出ない。

8歳~12歳

見つけたもの	どこで見つかりましたか?	それで何ができますか?(再利用する、リサイクルする、堆肥にする、すてる)	再利用ができる場合、それで何ができますか?
ペットボトル。	海岸に。	再利用する。	セーリングクラブ周辺の植物の水まき缶。



6~12歳

アクティビティ

ビンゴゲーム!

掃除の時間!で見つけたものをレビューする楽しいゲーム。

材料:

- ノート/紙
- ペン/鉛筆
- 掃除の時間!のアクティビティで収集されたものを集める。(もしくはインストラクターが事前に用意する。)



ステップ1

クルーの各メンバーにページに1~10の数字を縦に書くように指示します。



ステップ2

各数字の隣に、掃除の時間!のアクティビティで見つけたことを覚えているものを書きださせる。



ステップ3

箱の中から一つを取り出す。



ステップ4

箱の中から出されたものがリストにある場合、クルーは数字の横にチェックマークを付ける。すべてのものにチェックマークが付いたら、「BINGO!」と叫ぶ。



ステップ5

誰かが「BINGO!」と叫ぶまで、1つずつものを出して見せる。

6～12歳

ゴミのダッシュ!

さまざまな種類のゴミに関するクールの理解を確認するアクティビティとして掃除の時間!で集められたものを使う。チームワークとコミュニケーションスキルを高め、彼らを運動させるに役立つ。

クーラーが前後に走れるように十分なスペースが必要。

材料

- 掃除の時間!で収集したもの(または、インストラクターが用意してセッションに持って来たもの)
- ロープ4本(大きな円を作るのに十分な長さ)
- ものを入れるための2つの大きなコンテナ/バケツ/箱など
- ラベル4つ(再利用可能、リサイクル可能、堆肥化可能、ゴミ(各ロープの円の上に置く))

課題前の準備

スペースの一方の端に、2つのコンテナ(両方とも物でいっぱい)を配置します。10メートル先(またはスペースの端)に、ロープで4つの大きな円を作り、それぞれのロープの上にラベルを置く。

実際にリサイクルできるものは場所によって大きく異なるため、あなたの都市/国のリサイクルポリシーを確認する。



ステップ1

クーラーを2つのチームに分ける。



ステップ2

各チームにコンテナの後ろに並ぶように指示する。



ステップ3

各チームがものを整理しなければならないと説明する。各チームのメンバーが一人ずつコンテナからものを取り出し、円のほうに移動してからそのものを正しいカテゴリのローブ(再利用可能、リサイクル可能、堆肥化可能、ゴミ)に入れる。



ステップ4

チームは制限時間内(例えば3分)に、できるだけ多くのゴミを分別するように競いあう。また、コンテナが空になるまでアクティビティを続けることもできる。



ステップ5

グループ全体として、4つの円にものが正しく分別されているかどうかを確認する。クルーが可能な限り自己修正できるようにする。



デザインチャレンジ

6～12歳

資源としてのゴミ

デザインチャレンジの中で、クルーにゴミを資源として考えてもらう。創造性と批判的思考を奨励し、すでに使用済みのもので新しい製品をデザインを作り出すよう促す。

材料:

- 掃除の時間!で収集したもの(または、インストラクターが用意したもの)
- ポスター用の紙
- マーカー/ペン/鉛筆



ステップ1

2～3人の小さなグループに分かれるよう指示する。



ステップ2

チームとして、人々がゴミと考えるもので新しい製品を設計することを説明する。



ステップ3

掃除の時間!のアクティビティで見つけた再利用可能なカテゴリからものを1つ選択するように指示する。



ステップ4

チームに「ものを何として再利用できますか?」のアイデアを出し合うために2分間与える。すべてのアイデアは素晴らしいものであり、可能な限り創造的になることを奨励する。

1.

ステップ5

チームは皆で考えた後、アイデアを1つ選んで提案してくれるよう指示する。



ステップ6

チームに20分与え、提案したアイデアをもっと具体的に説明するためのポスター作成に取り組んでもらう。

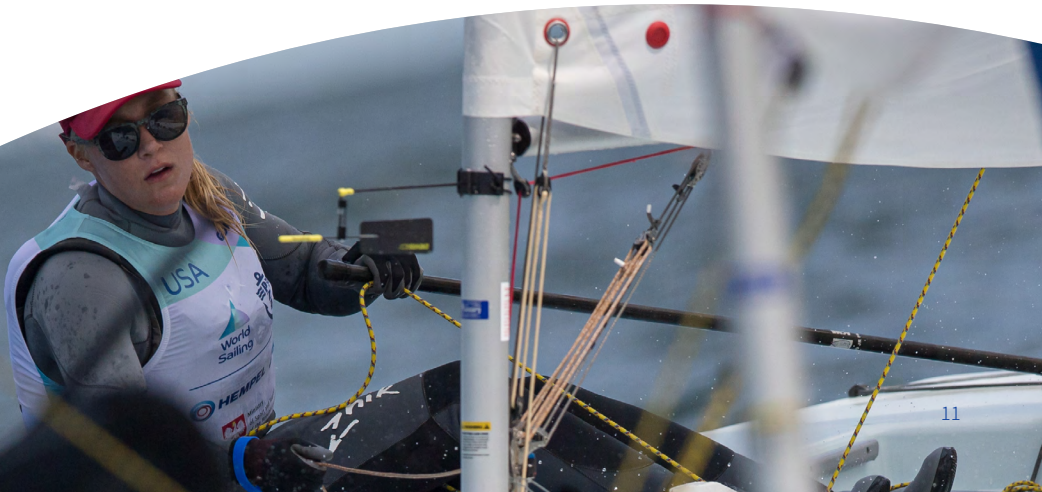


ステップ7

各チームは、クルー全体にデザインを発表してから質問を受ける。

オプション:

この課題は大会として行うことも可能。例えば、参加者はそれぞれ気に入ったデザインに投票をしてベストデザインが決める。(当然自分のデザインに投票できない!)







写真

ページ 0, 6, 9: © Jen Edney/World Sailing

ページ 2, 12: © James Tomlinson/World Sailing

ページ 11: © Szymon Sikora/World Sailing



ワールドセーリングの「サステナビリティ
教育プログラム」の著作権はクリエイティブコモンズ

ライセンスのコピーは、次をご覧ください:

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>



インストラクター用ガイド

World Sailing Trust(ワールドセーリングトラスト)
の協賛によりThe Ocean Race 1973 S.L.
(オーシャンレース 1973 S.L.)との共同制作

協賛



World Sailing
20 Eastbourne Terrace
London W2 6LG

Tel: +44 (0)2039 404 888
www.sailing.org